

加 佐

学校だより10月号
令和4年10月3日
舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

<https://kasa-maizuru.edumap.jp/>



秋涼爽快の候 保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育にあたたかいご理解・ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。

過日の体育祭は天候にも恵まれ、保護者の皆様方とともに開催することができました。PTA アルミ缶回収や美化作業と併せて実施した事前のグラウンド整備の甲斐もあり、そこにいるみんなが心を一つにして気持ち良く参加し応援するという、体育祭スローガンに掲げた通りの有意義な内容となりました。閉会直後の迅速な体育祭テント撤収等、皆様のあたたかいご支援に重ねてお礼申し上げます。

今年の体育祭「**完全燃焼 ～燃えつきるまで 心ひとつに～**」を力強く牽引した3年生が、体育祭活動をどのように捉え、**挑戦する力・協働する力・探究する力**などについて体育祭後にどう振り返ったのか紹介します。(学級だよりから抜粋)

- 自分のやるべき仕事を探して全体をスムーズに動かし、声出しなどの時間を設けて士気を高められるように工夫した。面白さも取り入れて笑ってくれるように頑張った。
- 体育祭で最も印象に残っていることは、大縄跳びです。練習でだれかがミスをしたとしても責めなかったし、新記録を作った時はみんなで喜んだり、体育祭で一番楽しい時間でした。
- 今までには体育祭をすることにどんな意味があるのかよくわからなかった。けれど、みんなと協力して、これまでないほどに楽しい体育祭を行うことができた。体育祭はみんなとの団結力を高めて絆を深めてくれて、私に積極性もつけてくれるとてもいい行事だった。
- 自分は大勢の中で物事を進めるのが苦手で、失敗してみんなに迷惑をかけてしまったことも多々ありました。けれども、失敗してもみんなが励ましてくれたり、先生方も多くのアドバイスをくださったお陰で堂々と1人で立ち、大きな声で発表できるようになりました。
- 1・2年生の時には声を出しづらかったけど、3年生になって人をまとめたり仲間と助け合ったり自然と声を出すことができ、自分にくっついてきた 殻が破れた と感じました。

芸術の秋 学びの秋

10月29日の第12回文化祭は、総合的な学習の時間の成果と加佐の伝統である合唱や各教科の成果物の展示を中心に披露します。円熟の PTA コーラスや校区の両小学校高学年児童の可憐な歌声、そして NHK 全国学校音楽コンクール京都府大会銅賞に輝いた合唱部による渾身の演奏も見所です。文化祭へのご参加は参加児童生徒のご家族のみとなりますが、体育祭での高まりをバネに加佐中学校体育館で心がひとつになる貴重なひと時をともに過ごしましょう。また、10月30日には舞鶴市総合文化会館において、市内7中学校の生徒実行委員が運営する「舞鶴市中学校文化祭典」が開催されます。加佐中学校からは合唱部が出演します。

保護者・地域の皆様方の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。くれぐれもお体を大切に、どうぞご自愛ください。

舞鶴市立加佐中学校 校長 福本 浩介 教職員一同

